

## 神経内科：CVA、頭部外傷

39-073 前頭葉障害で出現しやすい症状はどれか。

1. 幻聴
2. 視覚失認
3. 着衣失行
4. 発動性低下
5. ウェルニッケ失語

40-071 脳血栓と比較して脳出血に特徴的なのはどれか。

1. 活動時に発症しやすい。
2. 症状の進行が緩徐である。
3. 高齢者に多い。
4. TIA を前駆症候とする。
5. 意識障害は軽いことが多い。

40-080 小脳症状でないのはどれか。

1. 眼振
2. 構音障害
3. 体幹障害
4. 協調障害
5. 腱反射亢進

40-083 脳血管障害で誤っているのはどれか。

1. 日本の三大死因の一つである。
2. 日本では脳出血が減少し脳梗塞が増加している。
3. 高脂血症は脳梗塞の危険因子である。
4. 脳出血は天幕下の出血が多い。
5. くも膜下出血は脳動脈瘤破裂によるものが多い。

40-085 脳血管障害の CT 異常所見で誤っているのはどれか。

- ア.一過性脳虚血発作———低吸収域  
イ.脳梗塞(急性期)———高吸収域  
ウ.脳梗塞(慢性期)———低吸収域  
エ.くも膜下出血(急性期)——高吸収域  
オ.脳出血(急性期)———高吸収域
- 1.ア、イ 2.ア、オ 3.イ、ウ
  - 4.ウ、エ 5.エ、オ

41-087 脳血管障害で誤っているのはどれか。

1. 危険因子として高血圧がある。
2. 脳出血の原因として動脈壁の線維素性壊死が関与する。
3. 若年層の脳出血は動静脈奇形が原因となる。
4. 脳血栓の原因として心弁膜症がある。
5. 脳動脈瘤は脳底部に好発する。

41-088 脳血管障害の機能予後に関係しない因子はどれか。

1. 発症時の年齢
2. 高血圧症の有無
3. 病巣の部位
4. 病巣の大きさ
5. 脳循環障害の程度

42-061 運動性失語があっても目的とする機能を適切に評価できる検査はどれか。

1. 三宅式記銘力検査
2. 田中・ビネー式知能検査
3. コース立方体組み合わせテスト
4. 改訂長谷川式簡易知能評価スケール
5. ミニメンタルステート検査(MMSE)

42-082 脳出血患者の ADL 自立に関係する因子で適切でないのはどれか。

1. 性別
2. 血腫の部位
3. 血腫の大きさ
4. 治療開始時期
5. うつ病の有無

43-087 右半球の損傷で生じやすいのはどれか。2つ選べ。

1. 失読
2. 失算
3. 着衣失行
4. 手指失認
5. 半側空間無視

43-088 脳梗塞の原因で誤っているのはどれか。

1. 心房細動
2. もやもや病
3. 心臓弁膜症
4. Buerger(バージャー)病
5. 頸動脈粥状硬化

44-065 脳卒中患者の摂食・嚥下障害で誤っているのはどれか。

1. 急性期に高頻度にみられる。
2. 体位調節は誤嚥防止に役立つ。
3. 仮性球麻痺があると生じやすい。
4. 水はペーストよりも誤嚥しやすい。
5. 右側の咽頭麻痺では顔を左に向けて食べさせる。

45-A-084 一側性の脳損傷による顔面神経麻痺で障害をきたすのはどれか。2つ選べ。

1. 前頭筋
2. 眼輪筋
3. 口輪筋
4. 側頭筋
5. 咬筋

45-A-090 優位半球損傷に特徴的な症状はどれか。

1. 検者が示した指先への注視運動が出来ずに視点も定まらない。
2. 損傷した脳の反対側から呼びかけても顔面を向けられない。
3. 検者が出したジャンケンのチョキの模倣動作ができない。
4. 裏返しになった衣服を正しく着ることができない。
5. 閉眼したまま提舌を20秒以上持続できない。

45-A-091 右延髄外側の脳梗塞で認められるのはどれか。

1. 右顔面の温痛覚障害
2. 右顔面神経麻痺
3. 右上斜筋麻痺
4. 右片麻痺
5. 左小脳性運動失調

46-A-061 頭蓋内圧亢進でみられない症状はどれか。

1. 頭痛
2. 嘔気
3. 頻脈
4. 血圧上昇
5. うつ血乳頭

46-A-089 外傷性脳損傷後にみられやすい症状はどれか。

1. 運動失語
2. 着衣失行
3. 相貌失認
4. 全般性注意障害
5. 左半側空間無視

46-A-095 嚥下障害に対する治療法はどれか。

1. Shaker (シャキア) 法
2. DeLorme (デローム) 法
3. Jakobson (ヤコブソン) 法
4. Codman (コッドマン) 体操
5. Buerger-Allen (バージャー・アレン) 体操

46-P-083 視床症候群の症候として正しいのはどれか。2つ選べ。

1. めまい
2. 重度片麻痺
3. 体温の上昇
4. 激しい自発痛
5. 深部感覚障害

46-P-087 Wallenberg 症候群を起こす病態で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 橋出血
2. ラクナ梗塞
3. 脳動静脈奇形
4. 脳底動脈解離
5. 内頸動脈閉塞症

47-A-064 障害を受けた場合に右同名半盲を生じ得る部位はどれか。2つ選べ。

1. 右視神経
2. 左外側膝状体
3. 右内側膝状体
4. 左視放線
5. 右後頭葉

47-P-077 頭部 CT を示す。  
所見として考えられるのはどれか。



1. 脳梗塞
2. 被殻出血
3. 尾状核出血
4. くも膜下出血
5. 頭頂葉皮質下出血

47-P-088 心原性脳塞栓症の原因として最も多い不整脈はどれか。

1. 心室性期外収縮
2. 上室性期外収縮
3. 房室ブロック
4. 心房細動
5. 洞性徐脈

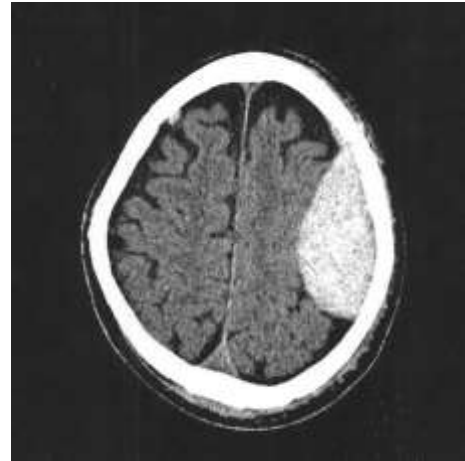
48-A-063 Gerstmann 症候群の病巣として正しいのはどれか。

1. 上側頭回
2. 中心前回
3. 舌状回
4. 帯状回
5. 角回

49-A-081 前頭葉機能検査はどれか。

1. SCT
2. TEG
3. MMPI
4. MMSE
5. WCST

49-A-090 頭部 CT を示す。  
所見として考えられるのはどれか。



1. 硬膜外血腫
2. 硬膜下血腫
3. 皮質下出血
4. くも膜下出血
5. 脳動静脈奇形

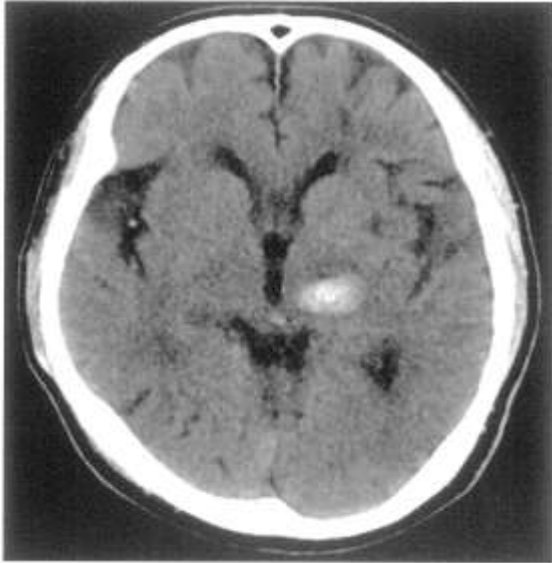
49-P-095 嚥下障害の病態と用いられる介入の組合せで正しいのはどれか。

1. 口腔期障害——粘性の高い食物
2. 鼻咽腔閉鎖不全——Shaker(シャキア)法
3. 喉頭挙上筋筋力低下——間欠的バルーン拡張法
4. 咽頭機能の左右差——頸部回旋
5. 輪状咽頭筋弛緩不全——軟口蓋挙上装置

50-A-084 頭頂葉の病変で生じる症候はどれか。

1. 歩行失行
2. 視覚失認
3. Anton 症状
4. Parkinson 症状
5. Gerstmann 症候群

50-P-077 頭部 CT を示す。  
出血部位はどれか。



1. 頭頂葉皮質下
2. 放線冠
3. 被殻
4. 視床
5. 橋

50-P-084 出血部位と出現しやすい症候の組合せで正しいのはどれか。

1. 被殻———作話
2. 皮質下———複視
3. 視床———注意障害
4. 小脳———反響言語
5. 橋———半側空間無視

## 神経内科：パーキンソン病

40-079 パーキンソン病で誤っているのはどれか。

1. 起立性低血圧がみられる。
2. 小字症が認められる。
3. 振戦は運動によって増悪する。
4. 方向転換が困難になる。
5. 立ち直り反応が障害される。

41-086 パーキンソン病で誤っているのはどれか。

- ア. 固縮  
イ. 病的反射  
ウ. 企図振戦  
エ. 仮面様顔貌  
オ. 寡動
1. ア、イ 2. ア、オ 3. イ、ウ
  4. ウ、エ 5. エ、オ

42-083 パーキンソン病で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 眼振が出現する。
2. 立ち直り反応が低下する。
3. 下肢ミオクロヌスが頻発する。
4. 運動によって振戦が増悪する。
5. 初期症状は一側性に出現する。

45-A-092 Parkinson 病で認められるのはどれか。2つ選べ。

1. 反張膝
2. 前傾姿勢
3. 突進歩行
4. 大殿筋歩行
5. はさみ足歩行

49-A-084 抗 Parkinson 病薬の長期投与によって生じうる症状として誤っているのはどれか。

1. 高血圧
2. on-off 現象
3. 精神症状の出現
4. Wearing-off 現象
5. 不随意運動の増強

49-P-089 Parkinson 病の症状、徴候について正しいのはどれか。

1. 企図振戦
2. アテトーゼ
3. Myerson 徴候
4. ミオクロニー発作
5. 折りたたみナイフ現象

## 神経内科：ギランバレー症候群

39-066 ギラン・バレー症候群について誤っているのはどれか。

1. 自覚的感覚異常がみられる。
2. 神経原性の筋電図所見である。
3. 軸索型の予後は良好である。
4. 呼吸・嚥下障害を伴う。
5. 髄液の異常所見がみられる。

46-P-090 Guillain-Barré 症候群について正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 罹患した部位に痙縮がみられる。
2. ウイルス感染が先行することが多い。
3. 軸索変性型は脱髄型よりも予後が良い。
4. 蛋白が高値で細胞増加がない髄液所見を伴う。
5. 症状は数か月かけて徐々に進行することが多い。

50-A-093 Guillain-Barré 症候群について正しいのはどれか。

1. 顔面神経麻痺から発症する。
2. 髄液中の蛋白が上昇する。
3. 自律神経障害はみられない。
4. 呼吸筋麻痺はみられない。
5. 再発と寛解とを繰り返す。

## 神経内科：多発性硬化症

39-088 多発性硬化症で誤っているのはどれか。

1. 発症は 15 歳から 50 歳までが多い。
2. 男性に多い。
3. 高緯度地域に多い。
4. 視力障害が高頻度に見られる。
5. 症状の寛解、再燃がある。

42-085 多発性硬化症で正しいのはどれか。

1. 階段状に増悪する。
2. 温熱によって症状が悪化する。
3. 深部腱反射が消失する。
4. 50、60 歳代で好発する。
5. 女性より男性に多く発症する。

43-064 多発性硬化症に特徴的な痛みはどれか。

2 つ選べ。

1. テタニー様痙攣に伴って生じる四肢の放散痛
2. 頭部前屈に伴って生じる背部下方への電撃痛
3. 食後に生じる胸背部鈍痛
4. 上肢と手指の発赤を伴った疼痛
5. 歩行を困難にするしびれを伴う下肢の疼痛

47-A-089 脊髄小脳変性症にみられにくく、多発性硬化症に特徴的なのはどれか。

1. 痙縮
2. 運動失調
3. 嚥下障害
4. 構音障害
5. 有痛性痙攣

47-P-089 多発性硬化症について正しいのはどれか。2 つ選べ。

1. 男性に多い。
2. 発症は 50 歳代に多い。
3. 脱髄病変が見られる。
4. 視力低下が出現する頻度が高い。
5. 運動負荷に制限を設ける必要はない。

## 神経内科：ALS

40-067 筋萎縮性側索硬化症で誤っているのはどれか。

1. 40～50 歳代に好発する。
2. 男性に多い。
3. 進行性である。
4. 外眼筋麻痺が見られる。
5. 球症状が見られる。

42-084 筋萎縮性側索硬化症で適切なのはどれか。

1. 筋の圧痛
2. 筋線維束攣縮の存在
3. 近位筋優位の筋萎縮
4. 筋電図の低振幅電位
5. 筋生検上、顕著な壊死線維の存在

44-076 筋萎縮性側索硬化症で見られないのはどれか。

1. 舌の線維束攣縮
2. 流涎
3. 肺活量低下
4. 深部感覚障害
5. 歩行障害

50-P-093 筋萎縮性側索硬化症にみられるのはどれか。

1. 筋固縮
2. 痛覚脱失
3. 測定異常
4. 線維束攣縮
5. 筋の仮性肥大

## 神経内科：運動ニューロン疾患

43-086 末梢神経麻痺の症候で正しいのはどれか。

2つ選べ。

1. 痙縮
2. 筋萎縮
3. 病的反射
4. 不随意運動
5. 腱反射低下

44-082 深部腱反射の亢進がみられるのはどれか。

2つ選べ。

1. 重症筋無力症
2. 多発性硬化症
3. 筋萎縮性側索硬化症
4. 筋強直性ジストロフィー
5. Duchenne型筋ジストロフィー

45-P-083 痙縮が出現するのはどれか。

1. 多発筋炎
2. 多発性硬化症
3. 腕神経叢麻痺
4. 急性灰白髄炎（ポリオ）
5. Guillain-Barré症候群

45-P-90 神経筋接合部の障害が病態の中心である疾患はどれか。

1. ボツリヌス中毒症
2. 筋萎縮性側索硬化症
3. 急性散在性脳脊髄炎
4. Guillain-Barré症候群
5. Charcot-Marie-Tooth病

46-P-095 上位運動ニューロンの障害でみられる症状はどれか。2つ選べ。

1. 振戦
2. 痙縮
3. 腱反射消失
4. 筋線維束攣縮
5. 病的反射陽性

50-A-087 痙縮を生じにくい疾患はどれか。

1. 脳梗塞
2. 外傷性脳損傷
3. 中心性頸髄損傷
4. 胸椎黄色靭帯骨化症
5. 腰椎椎間板ヘルニア

## 神経内科：筋疾患

40-050 デュシェンヌ型筋ジストロフィーの筋病理所見について正しいのはどれか。

- ア. 筋線維が筋線維束単位で萎縮する。
- イ. 筋線維の直径はいずれもほぼ等しい。
- ウ. 筋線維が結合組織や脂肪組織に置換される。
- エ. 筋形質膜にジストロフィン蛋白がみられない。
- オ. リンパ球などの炎症性細胞の著しい浸潤がみられる。

1. ア、イ 2. ア、オ 3. イ、ウ
4. ウ、エ 5. エ、オ

42-086 筋ジストロフィーで正しいのはどれか。2つ選べ。

1. デュシェンヌ型は男児に発症する。
2. デュシェンヌ型では心筋障害はまれである。
3. 肢帯型は常染色体優性遺伝である。
4. 顔面肩甲上腕型は仮性肥大が特徴である。
5. 先天性筋ジストロフィー(福山型)は精神遅滞を伴う。

44-088 Duchenne 型筋ジストロフィーで頻度が低いのはどれか。

1. 兄弟発症
2. 呼吸不全
3. 心機能障害
4. 胸腰椎の変形
5. 脳萎縮

45-P-084 筋疾患で正しいのはどれか。

1. Duchenne 型ジストロフィーは中枢神経系形態異常を伴う。
2. Becker 型ジストロフィーは5歳までに発症する。
3. 顔面肩甲型ジストロフィーは腰臀部の筋から発症する。
4. 筋強直性ジストロフィーはミオトニアがみられる。
5. 肢帯型ジストロフィーはミオパシー顔貌がみられる。

46-A-091 皮膚筋炎で誤っているのはどれか。

1. 女性に多い。
2. 四肢近位筋の筋力が低下する。
3. 赤沈が亢進する。
4. 血中 CK 値が低下する。
5. 悪性腫瘍を高率に合併する。

47-A-091 Duchenne 型筋ジストロフィーについて正しいのはどれか。

1. 横隔神経麻痺を生じる。
2. 閉塞性換気障害を生じる。
3. 側弯症は呼吸機能に影響しない。
4. 呼吸障害では PaCO<sub>2</sub> が上昇する。
5. 呼吸不全は5歳以下から生じることが多い。

48-P-082 Duchenne 型筋ジストロフィーについて、厚生省筋萎縮研究班の機能障害度分類によるステージとリハビリテーションの内容の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

1. ステージ2——下腿三頭筋のストレッチ
2. ステージ3——下肢装具による歩行訓練
3. ステージ4——非侵襲的陽圧換気療法の開始
4. ステージ5——中殿筋の最大抵抗運動
5. ステージ6  
——座位保持装置による脊柱変形の予防

50-A-092 筋強直性ジストロフィーにみられるのはどれか。2つ選べ。

1. 痙縮
2. 下垂足
3. 斧状顔貌
4. ジストニア
5. 有痛性けいれん

50-P-092 Duchenne 型筋ジストロフィーの特徴で正しいのはどれか。

1. 下肢筋力が上肢筋力より早く低下する。
2. 出生時から筋緊張低下がみられる。
3. 15～20歳で歩行不能となる。
4. 常染色体劣性遺伝である。
5. ミオトニア現象を認める。



## 神経内科：その他

40-048 律動性不随意運動はどれか。

1. 振戦
2. ジストニー
3. バリスム
4. 舞踏運動
5. アテトーゼ

40-049 病変部位で誤っている組合せはどれか。

1. 筋萎縮性側索硬化症———脊髄前角
2. 急性灰白髄炎（ポリオ）———脊髄後角
3. パーキンソン病———中脳黒質
4. ハンチントン病———線条体
5. アルツハイマー病———大脳皮質

40-088 正しい組合せはどれか。

- ア.重症筋無力症———筋痛  
イ.パーキンソン病——折りたたみナイフ現象陽性  
ウ.フリードライヒ失調症—Romberg 徴候陰性  
エ.ギラン・バレー症候群———腱反射減弱  
オ.脊髄空洞症———解離性感覚障害

1. ア、イ 2. ア、オ 3. イ、ウ
4. ウ、エ 5. エ、オ

41-052 遺伝性疾患でないのはどれか。

1. ハンチントン舞踏病
2. デュシェンヌ型筋ジストロフィー
3. 筋緊張性ジストロフィー
4. クロイツフェルト・ヤコブ病
5. マルファン症候群

41-085 女性に多いのはどれか。

1. 筋萎縮性側索硬化症
2. 晩発性小脳皮質萎縮症
3. アルツハイマー病
4. 進行性核上性麻痺
5. パーキンソン病

43-077 女性に多いのはどれか。

1. 筋萎縮性側索硬化症
2. 晩発性小脳皮質萎縮症
3. Alzheimer 病
4. 進行性核上性麻痺
5. Parkinson 病

43-089 直射日光下で訓練してはならない疾患はどれか。

1. 色素性乾皮症
2. 筋ジストロフィー
3. Down(ダウン)症候群
4. 骨形成不全症
5. Marfan(マルファン)症候群

44-083 運動失調がみられるのはどれか。

1. 辺縁系脳炎
2. Parkinson 病
3. 周期性四肢麻痺
4. Wallenberg 症候群
5. Lambert-Eaton 症候群

46-P-077 痙縮の治療においてボツリヌス毒素の作用部位はどれか。

1. 脊髄後根神経節
2. 脊髄前角
3. 脊髄前根
4. 運動神経終末
5. 筋小胞体

47-A-083 発症早期の多系統萎縮症で頻度が低いのはどれか。

1. 認知症
2. 尿失禁
3. 動作緩慢
4. 起立性低血圧
5. 姿勢反射障害

47-A-078 ボツリヌス毒素を用いた治療で、効果の一般的な持続期間はどれか。

1. 1～3 日
2. 1～3 週間
3. 3～6 か月
4. 1～3 年
5. 10 年以上

48-A-087 ボツリヌス毒素を用いた治療で正しいのはどれか。

1. ボツリヌス毒素は前角細胞に作用する。
2. 痙縮のある筋に対して筋肉注射を行う。
3. 65 歳以上の高齢者には禁忌である。
4. 注射直後から最大効果を認める。
5. 効果持続は約 1 年間である。

48-A-089 感覚障害を合併するのはどれか。2つ選べ。

1. 多発性硬化症
2. 重症筋無力症
3. 筋萎縮性側索硬化症
4. 肢帯型筋ジストロフィー
5. 慢性炎症性脱髄性多発ニューロパチー

48-A-090 重症筋無力症について正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 筋電図検査において末梢神経の連続刺激で振幅の増大がみられる。
2. 抗アセチルコリン受容体抗体陽性率は 10%である。
3. 症状の日内変動がある。
4. 嚥下障害の合併はない。
5. 眼瞼下垂がみられる。

48-P-085 病態とその治療薬の組合せで正しいのはどれか。

1. ジスキネジア——L-dopa
2. 重症筋無力症——コリンエステラーゼ阻害薬
3. 前立腺肥大症——抗コリン薬
4. 間質性肺炎——メトトレキサート
5. 消化管出血——アスピリン

49-A-089 重症筋無力症で正しいのはどれか。

1. 女性より男性に多く発症する。
2. 四肢では遠位筋の筋力低下が起きやすい。
3. 夕方にかけて症状は軽快する。
4. 末梢神経の連続刺激で振幅の増大がみられる。
5. コリンエステラーゼ阻害薬が用いられる。

50-A-078 ボツリヌス菌毒素製剤の作用機序について正しいのはどれか。

1. 末梢神経の破壊
2. ミトコンドリアの ATP 産生停止
3. アクチンとミオシン頭部の結合抑制
4. 抗アセチルコリン受容体抗体の産生
5. 神経終末部でのアセチルコリン分泌抑制